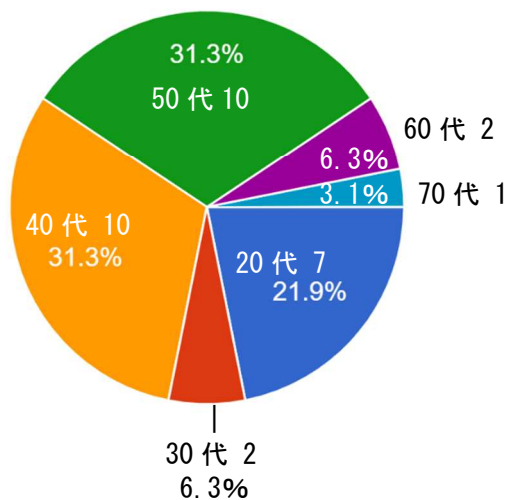


## 絆研修⑦-1 参加者アンケートまとめ

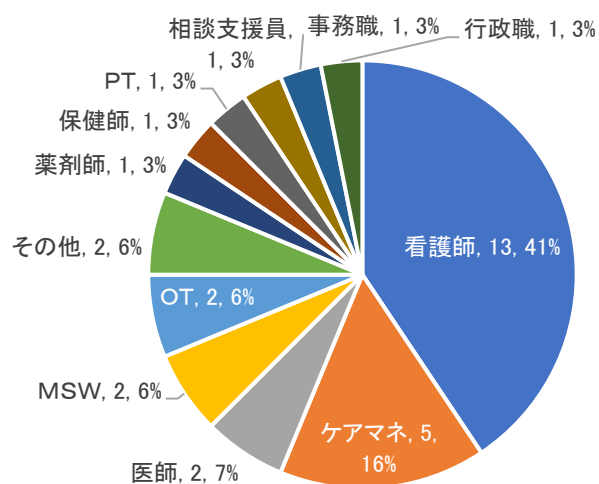
あなたについて：年代

32件の回答



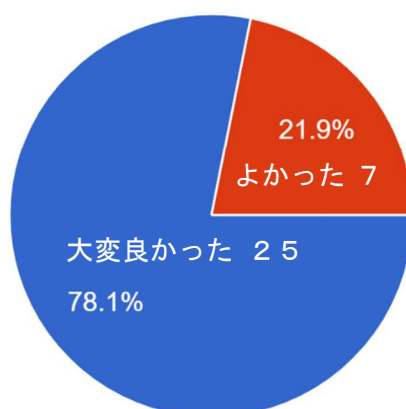
あなたについて：職種

32件の回答



研修内容はいかがでしたか

32件の回答



## \*前問（研修内容）について、その理由

- ・ ACP について学べ、自分の今の状況で考えることができた。様々な職種からの意見が聞けたことがよかった。
- ・ 多職種の意見を聞くのはいつも新鮮でこの研修を通じて連携・協働の意味を再確認できています。
- ・ 自分の家族に置き換えたりして考えることができた
- ・ 多職種間で意見し合えるから
- ・ 事例の問題点や対応を考える際、他職種の方の意見からそういう視点で見てるんだなという発見があり、勉強になりました。また、自分の最後や家族の最後を考える機会はなかなかないので良い経験になりました。
- ・ 特に第2のグループワークで、自分のこと、家族のことをじっくり考える機会が取れた。今後の仕事にも役立てられそう。
- ・ 普段関わることが少ない多職種の方々との研修で新鮮であり、新たな視点を学ぶ機会となった。
- ・ 自分と家族のことについて、深く考えるきっかけとなりました。
- ・ ブレイクアウトルームでの時間に余裕があったので、皆さんの意見・考えが多く出せていた
- ・ 参加者により毎回意見など、違った側面が得られること
- ・ 多職種の方と事例をもとに意見交換する機会は滅多にないので今回も貴重な経験をすることができました。自分とは異なる考えを聞くこともでき、参考になりました。
- ・ 今まであまり考えていなかった自分の終末期の在り方考える良い機会となった。
- ・ 色々な職種の方と議論でき、其々の職種の立場や役割からの視点を学ぶ事ができた。
- ・ もしもの時にどうしたいか改めて考える機会がもてた
- ・ 様々な職種の方とワークを行い違う職種の考えがとても参考になった。自分のもしもの考えを想像したことがなかったので、自分と家族の場合との違いがあることに改めて気がついた。これからは、もう少し視野を広げ想像しながら職務につきたい。
- ・ ファシリの方の進行を含めグループワークで意見を出し合い、職種を超えたワークができました。
- ・ 今の自分や家族のこと、仕事のことを改めて考える機会となりました。
- ・ 他の職種の方の意見が聞けたこと。
- ・ 自分の終末期、家族の終末期をそれぞれ考えた時に、家族の視点と自分の視点での見方が違うことで結果も変わってくることに気づくことができました。今後の患者さんやご家族と向き合う時のヒントになると思います。
- ・ 多職種の方と議論ができたこと。ACP について学べたこと。
- ・ 違う職同士で意見を交換しあうことで互いに気づきを感じることができた。

- ・多職種の研修で、色々な考えが聞けたこと。ACPについても詳しくしることができた。
- ・職種や年代・家族背景の異なる方々と自分とは違った視点での意見を伺うことが出来た。
- ・具体的なやりとりができた
- ・GWで職種ごとの専門的な意見を聞くことが出来たり、ACPについて理解を深めることができた。
- ・ケースワークと前後の講義の内容が良かったです。
- ・グループワークでは実際長年在宅医療に関わってきておられる方々の意見を伺うことができ、大変勉強になりました。
- ・活発な意見が出ていたので
- ・多職種の意見を聞けた。ACPについて学べた。
- ・事前の情報共有や準備が大切であることを学びました。日々、「考えて悩み続けることが必要なんだ」という言葉が心に響きました。よい機会をいただき良かったです。
- ・ACPの中で本人のこれまでの人生や価値観をすり合わせていくことが大きな学びでした。

#### \*今回の研修に参加しての気づき

- ・自分や家族の予後、エンディングについて考えていくことが大事だということ
- ・ACPの大切さを感じた
- ・特にありませんが、研修を修了する前から修了証が同封されていたことには驚きました。
- ・その都度その都度気持ちは変わる、一度決めたからと言ってその意見が継続するとは限らない。
- ・自分に何かあった時、日頃は考えていなかったが、自分自身でも考えることが必要だと感じた
- ・家族や自分が自身の力での生活が困難になった時、その支え方だけを共有するのではなく、なぜそうしてほしいのかという想いも共有し話し合っておくことが大切だと気づけました。
- ・以前よりも、利用者本人、家族の意思や気持ちを尊重するための深みのある意見が増えたように感じます。人生の情報共有ができていような意見が多かったように思いました。
- ・担当者会議や地域ケア会議は行っているが、それぞれの立場で意見を引き出すことの大切さを感じた。
- ・自分の思いや家族の思いというのはずっと同じではないので、定期的に話し合いが必要であると気付きました。

- ・多職種で検討会を行うことで自分の視点と違う意見があり大変参考になった。
- ・本人や家族の意向をきちんと聴くことが大切。それぞれの職種の役割や担うことを意識した会議が大切である。
- ・細かいことまでは本人の気持ちはわからないので確認したい
- ・自分のもしもの時、家族のもしもの時、自分の時に対する家族の考えと選択等々、気がつかされた。
- ・自分のことができなくなった時の対応を考えていなかった。
- ・自分も家族も、最期の看取り方を考えないとという話まではするのですが、それ以上具体的な話ができなかったので、残された家族の後悔がないよう、自分自身も安心して旅立てるよう準備が必要だと思いました。
- ・人生の最期について、意識的に家族と話し合っていきたいと考えました。
- ・改めて ACP や自分や家族の最期についてなどを考える機会になりました。
- ・病状や周囲の環境の変化で考えが変わるが、その変化のなかでサポートする側の支援をどのように進めていったらよいのか、話し合う内容や方向性について学ぶことができた。
- ・内容に発表者の体験があると、具体的で理解しやすくなった。
- ・在宅での生活を支える上で必要になってくる細やかな気配り、服薬管理や生活上の障害についてどんなアドバイスができるかなど伺うことができて大変参考になりました。
- ・初めてのファシリテーターは最初緊張しました
- ・研修でファシリテーションや書記の方が決定していたので、研修の流れがスムーズだと思いました。
- ・本人・家族の意思の尊重を最優先に、医療者として答えを求めすぎないこと。

#### \*今後取り組みたいこと

- ・自分が家族が病気になったら事故になったらどうするか、どうしたいか、ケアマネジメントの場面でも意識していきたいと思う。
- ・やはり集合研修が出来るといいですね。
- ・地域の役に立てる役割を担えるのであれば、少しでも何かの活動をしていきたい。普段は医療職養成過程の教育の場にいるが、臨床にも出ていたり、地域での研修講師をさせてもらったり、他職種とのコミュニケーションを行える場に出ていたり、できるだけしていきます。
- ・家族で、幾度も要所要所で話し合いを持ちたい。また仕事上でもそのことを踏まえて家族に接したい。
- ・退院後は担当ケアマネさんへ任せるだけでなく、多職種で継続した関りができるようになれば、と思う。

- ・ ACP ノートをまず家族と相談し作成してみる
- ・ 今回の事例でもあったように、実際にそのような場面になった時自分はどうしてほしいのか、家族はどのような考えがあるのか話し合う機会が必要と感じました。
- ・ 今後同様の研修があれば積極的参加したい
- ・ 本人や家族の意向やその人の人生を知って支援したい。
- ・ もしもの時はどうしたいかを機会を見て聞いていきたい
- ・ 患者さんに接するとき、家族の意向も確認しているが、家族の意向を優先にしていたかもしれない。もう少し患者自身に深掘りして接していこうと思った。
- ・ 多職種との連携のために、つながりを持っていきたいと思います。
- ・ グループワークでも話が出てましたが、年に一回話をすると決めると、取り組みやすいと思うので、親ともそろそろ具体的に話をしていきたいと思います。
- ・ 自分の家族とも ACP について話す機会があれば、していきたいです。
- ・ サービス担当者会議の事前準備を、しっかりして、利用者中心の会議をしていきたい。
- ・ いざという時のための意思表示も大切だが、それだけでなく身の回りの家族と日々自分の思いを話し合っていきたいと思った。
- ・ 身近なスタッフとの意見交換
- ・ GW のスムーズな進行
- ・ 病院から在宅への移行で話し合いの場を設けたり、どんな情報が提供できれば良いのか具体的に知ることができたので、そういった点に着目しながら普段の診療をしていきたい。
- ・ 一層のスキルアップ
- ・ 私や家族で ACP ノート記載してみたいと思います
- ・ まず、自分や大切な家族の気持ちを知ること

#### \*研修全体をとおしての感想

- ・ 多職種の方との交流機会ができる機会が少なくなっている中、楽しく研修をうけさせていただきました。
- ・ 研修を重ねるたびにプレゼンターの方がバージョンアップしていているので素晴らしいと感心しています。同じテーマの繰り返しの研修でも参加するたびに新たな発見があり新鮮です。参加者も1度だけでなく時間を空けてでも2クール目の参加をしてほしいと思います。ありがとうございました。
- ・ とても充実した研修時間でした。
- ・ いい研修会を企画・運営してくださり、ありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。
- ・ このように他職種の方の考えを聞ける機会は少ないので大変参考になりました。この

ような機会を作っていただきありがとうございました。

- ・ ACP ノートを役立てるきっかけを作ってくださいありがとうございます。これから母と書き込みたいと思います。
- ・ 3 回目も受講してみたいです
- ・ 参加者もスタッフもブラッシュアップされてきているな。と感じました。
- ・ グループワークも楽しく参加できました。
- ・ 今回も、たくさんの職種の方と話すことができとてもいい機会でした。グループでの話し合いもとても話やすく、意見が言いやすい雰囲気を取り組めました。ありがとうございました。
- ・ 研修の企画、運営、準備に関わって下さる方があって大変ありがたいです。今後もよろしくをお願いします。
- ・ 資料やグループワークの進行など準備いただきありがとうございました。集中して参加できてとても楽しかったです。
- ・ 自分と家族、他人では考え方が必ずしも一致しないと感じた。一緒に話をする機会を持つこと記録しておくことが大事だと思った。毎回勉強になります。
- ・ 単純に楽しかったです。なので次回は対面で研修ができればいいなあと思いました。
- ・ また次回も参加させていただきます。ありがとうございました。
- ・ 医療従事者として介護されている患者さまに対応することは多いが、いざ自分の家族が要介護になるということは考えたことがなかったので良い機会になりました。
- ・ 今回も、多職種で話ができ、学びの多い研修でした。MSW としてだけでなく、個人的にもいろいろと考えさせられる内容でした。どうもありがとうございました。
- ・ お世話になりました。ありがとうございました。
- ・ オンラインですが活発な意見交換ができてよかったです。
- ・ ファシリテーターに、会の修正をしてもらえて、助かりました。
- ・ ファシリテーターさんを始め研修担当者さまが話し合いが円滑に進むよう調整してくださいありがとうございました。事例を通しながら自分や家族、他者の思いについて考える機会となりました。
- ・ 現場でも、意見交換が出るといいですね
- ・ GW が盛り上がり、いろいろな意見や考えを聴くことができ、充実した研修になった。
- ・ かなり充実した時間でした。スタッフの皆様、ファシリテーターや書記の皆さんの周到な用意があつての会だったと思います。ありがとうございました。
- ・ 良い研修の雰囲気だったと思います
- ・ 他職種との交流ができ、いろいろな立場の方の話が聞けたのはよかったです。
- ・ オンラインでも十分に満足しておりますが、集合研修もしてみたいなと思います。ありがとうございました。